

平成30年度 東淀川区運営方針

区民のみなさんの声を反映した取り組みを進めます

東淀川区役所では、区政会議や区民アンケート結果を反映し、区民ニーズに応じた区政運営をめざしています。5つの目標と主な取り組みをご紹介します！

自助・共助を担う地域力と、にぎわいのある元気なまち

幅広い住民のつながりづくりなど地域活動の活性化支援、地域・企業・大学など教育機関・行政等の連携を進め、にぎわいのあるまちをめざします。

● 地域単位での地域保健福祉計画策定への支援

地域住民や関係機関が連携してよりよい地域づくりをめざす「地域単位の活動計画」策定の取り組みを支援します。



区民まつり

● 区民まつり

にぎわいづくりの一翼を担うような区民まつりをめざします。

子ども・青少年の健全育成に地域が一体となって取り組んでいるまち

子どもや子育て家庭が地域コミュニティに溶け込み、地域全体のつながりの中で守られる、子どもの成長を地域全体のおとなが支え共に成長していけるまちをめざします。

● 登校・登園サポートなど地域での見守り支援

継続した登校・登園ができていないお子さんを送迎支援者が支援します。また、満一歳未満の乳児のおられる家庭に地域の訪問員が伺い、情報提供を行うなど、地域の中で子どもが健やかに育つ環境整備を図ります。



子育て情報をお届け!

福祉と健康にみんなで取り組むまち

高齢者や障がいのある方などの見守り支援・健康づくりなど、みんなで支え合いながら、誰もが地域で安心して暮らせるまちをめざします。

● 複合課題世帯への支援

制度のはざまや複数の課題を抱えた世帯に対する個別の支援を検討する場(つながる場)を設け、各担当・支援機関が連携して支援します。



つながる場

安全・安心のまち

地域住民の防災・減災・防犯・交通マナーの意識を高め、学校・企業・地域間・行政機関が連携して、安全で安心して暮らせるまちをめざします。

● あらゆる世代の防災意識向上

様々な場において、防災・減災に関する学習会(ブース出展含む)を実施するとともに、防災に関する情報を発信するなど、自助・共助の取り組みを推進します。



かみしんプラザでの防災講座

区民の役に立つ区役所があるまち

区民ニーズに応じた区政運営や情報発信力の強化、窓口サービス、職員力の向上を行います。

「東淀川区をもっとよくしたい!」

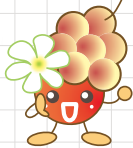
区政会議の意見を区政に活かします!



区政会議委員の皆さん



東淀川区区政会議 田原議長



私たち44名の区政会議委員は、4つの専門部会に分かれて区運営方針など区の施策に関する意見交換をしています。会議を重ねるうち、「こんな風にしたらもっとよくできるやん!」といった意見・提案がどんどん出てきて、施策へも反映されてきています。地域推薦委員(31名)は区と各地域とのパイプ役となり、地域のみなさんの声をしっかり届けていくこともめざしています。東淀川区の明るい将来をみんなで描いていきたいです!



左から、新庄議長(魅力あるまちをつくろう!部会)、村富議長(安全・安心部会)、北岡区長、田原議長(本会)、小山議長(健康・福祉部会)、友貴議長(教育・子育て部会)

区政会議の詳細内容は区ホームページをご確認ください!



【問合せ】総合企画 1階10番 電話4809-9908

区長コラム

金メダリストの金言



2月に行われた平昌オリンピックでは日本人選手が活躍し、「感動した」、「勇気をもらった」という声をあちらこちらで耳にします。4年に1回のオリンピックの瞬間にかけた戦いの中で、メダリストになることの難しさは、取り組んだことがない者にとっては、想像を絶するものでしょう。今回、日本選手団の主将として、そのテーマを「百花繚乱」と表現していた小平奈緒選手の語る言葉が非常に印象深いものでした。報道では、あまり表に出ていませんが、ここに紹介させていただきます。

百花繚乱とは、いろんな花が色とりどりに咲乱れることを意味しますが、転じて、多くの優れた人々が出て、素晴らしい業績が一度にたくさん現れることを言います。小平選手は、「たくさんの競技でそれぞれの思いを胸に、きれいな花を咲かせてくださった。この花たち、メダルを輝かせることができるような競技生活を今後もみんなで送ってもらったらいいなと思います。」と帰国後の記者会見

で話されました。報道では、百花繚乱という言葉が先行し、良い成績を残せたということが主に伝わりました。でも、彼女は、この前に、「たくさんのメダルを獲得できましたが、重要なことは平昌オリンピックに出場した選手みんながそれぞれの舞台上でそれぞれの思いを胸に、力強く最後まで戦い抜いたことを私は皆さんに見て頂きたかった。」と語っています。メダルを取ったということより大切なことがありますと伝えてくれています。

また、彼女は、スピードスケート500メートルで金メダルを取った翌日の記者会見で、次のように語っています。「金メダルをもらうことがとても名誉なことですけれども、メダルよりも私自身の中では、このメダルを通してどういう人生を生きていくかが大事になってくると思うので、メダルに対してどうという思いはないです。」ここでも、彼女はメダルを取ったということよりも、今後の人生をどう生きていくかが大切だと伝えていきます。

メダル獲得は、記録として残り、また、その競技の流れや選手の表情は記憶に残りますが、メダルを獲得するまでの過程やその後の人生の生き方が大切ではないかという小平選手の謙虚な言葉に胸を打たれました。

きた おか ひとし
北岡 均

広告

広告